

学校教育目標 未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

～ やさしい子:やさしいっばい かしい子:かいいい たくましい子:やる気いっばい ～



和土小だより

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校Web ページ: <https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール: wado-e@saitama-city.ed.jp

さいたま市立和土小学校

令和8年8月26日(水)

8・9月号

児童数 141名

つながりを大切に

校長 中野尾 奈都江

夏休みが終わり、子どもたちが元気に登校してきました。友達と笑顔で話している様子を見ると、その明るい表情にほっとします。

さて、7月29日(水)に、大宮国際中等教育学校で「さいたま市ストップ! いじめ子どもサミット」がありました。小・中学校、特別支援学校・中等教育学校の児童生徒の代表と、保護者・地域の方・教職員が交流しました。和土小・新和小・城南中のグループ会場では、和土小の代表児童が、スローガン「心をきれいに キラキラ笑顔をふやそう」や、「ありがとうキャンペーン」・「委員会と連携した取組」を紹介しました。そして、体育館では岩槻区の児童生徒で話し合いました。岩槻区の「いじめ撲滅スローガン」は、区の花「やまぶき」にちなんで、「やだったら嫌と言おう ましてく笑顔 ぶれない正義感 きもちを伝える」となりました。さいたま市の児童生徒が一堂に会して、自分の思いや考えを伝え合う良い機会でした。和土小では、「小・中一貫教育『花笑み教育』」として、「仲間とつながる～

多様な人との関わりを通して人の思いや願いを知る。自分の思いや願いを伝える～」という取組を進めています。自分の考えをもち、自分の言葉で表現できるよう、様々な機会を生かしていきたいと思います。

また、行政や民間企業、地元の高校・大学・保育園・社会教育施設ともつながる「和土小社会教育人材ネットワーク」を活用したカリキュラム・マネジメントを行っています。どの学年でも地域の幅広い人材をゲストとして招き、体験的に学ぶ機会を設けています。

【展示】

- ・和土ギャラリーの掲示教育(7月PTA七夕飾り・11月南部公民館まつり作品展示)
- ・地域のスーパーマーケット(ヤオコー)にて硬筆展示(7月)・書きぞめ作品展示(1月)
- ・埼玉高速鉄道25周年のラッピング電車にて児童の図画展示(11月)
- ・イオンモール浦和美園店にて学校紹介展示(12月)
- ・イオンモール浦和美園店内の書店(旭屋書店)にて図書委員会POP展示(1月)

【交流】

- ・岩槻高等学校生徒との一日交流(全校:10月)
- ・東武保育園との交流(1年生:12月・3月)
- ・長崎被爆体験の語り部による社会科出前授業(6年生:1月)
- ・目白大学の作業療法士による学校リハビリテーション(特別支援教育)(毎月1回)

【体験】

- ・地域の伝統的な行事(和土住宅祭り・黒谷神社祭り)への児童参加(7月・8月)
- ・国指定重要無形文化財「笹久保の土俵入り」への児童参加(9月)
- ・さいたま市タウンミーティングへの代表児童参加(R8年9月)
- ・目白大学の理学療法士による体力アップキャンペーン(10月)

子どもたちが地域の多様な人と、学びを通してつながることで、みんな一緒に笑顔になれると考えております。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

和土小スローガン
心をきれいに
キラキラ笑顔をふやそう

ありがとうキャンペーン 6/22～6/30

6月、キラキラ笑顔を増やすためにはどうすればよいかを代表委員会話し合いました。和土小学校に「ありがとう」が溢れる取組として「ありがとうキャンペーン」を考えました。

相手に何かしてもらったら「ありがとう」の言葉と一緒にシールを渡します。人のためになること、役に立つことの喜びを感じることができ、また、シールが溜まっていくことでそれが形として見えるようにこの取組を考えました。

○成果…「ありがとう」を声に出して伝えることができた。
お手伝いや周りの声掛けなど、気配りする姿が見られた。

●課題…シールを集めることが目的ではなく、継続して「ありがとう」が伝えられるようにしなければならない。

和土小学校

委員会と連携した取組

放送委員 → みんなが笑顔になれる放送
環境委員 → そうじキャンペーン(心をきれいにするには環境から！)